

進路指導者懇談会

法学部の入試について

募集人員と日程

*関係資料「入学者選抜要項」2～3頁

	法律学科	政策科学科	試験日程(予定)
一般選抜 前期日程	103人	42人	2026年2月25日(水)
一般選抜 後期日程	15人	10人	2026年3月12日(木)
学校推薦型選抜	59人	24人	2025年11月30日(日)
外国人留学生特別選抜	若干名	若干名	2026年2月8日(日)
帰国子女学生特別選抜	若干名	若干名	同上
編入学(学士入学含む)	若干名	若干名	2025年9月7日(日)

一般選抜（前期・後期）

*関係資料「入学者選抜要項」7頁

I. 共通テスト3教科3科目（200点×3=600点）

①国語

②外国語（英<リスニング含む>・独・仏・中・韓から1科目）

③下記の教科から1科目

○地歴・公民

（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総/歴総/公共」「公共、倫」「公共、政経」から1科目）

○数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」から1科目）

○理科（「物基/化基/生基/地基」「物」「化」「生」「地」から1科目）

○情報（「情報Ⅰ」）

II. 個別の試験

前期：小論文（90分・300点）

後期：面接（200点）

学校推薦型選抜

*関係資料「入学者選抜要項」12頁

推薦要件 平均評定値3.8以上
(「学校長推薦枠」数に制限はありません。)

個別の試験等 (400点)

I. 小論文 (90分、300点)

II. 資格取得等申告書、推薦書および調査書 (100点)

「小論文」試験の形式・近年の出題傾向

*関係資料 大学HP入試情報
「過去の入試問題等」
「解答例」「出題の意図」

①まとまった字数の課題文

★近年は6000字前後

②解答の分量は合わせて800字程度

★近年は2問（要約・意見）

課題文の要旨の把握（読解力）

受験生がどれだけ論点を的確に提示し、自己の見解を論理的に説得力ある形で展開しているか（自説展開力）

「小論文」試験の対策

*関係資料 大学HP入試情報
「過去の入試問題等」
「解答例」「出題の意図」

- ①自身の主張をわかりやすく他人に伝えられるか
←論理的で説得力のある文章を書く
「書く」力を獲得するために「読む」「読解する」
- ②様々なトピックに対して関心を持ち、さらに問題意識を有しているか
←社会を取り巻く状況に対しアンテナを張って「知る」
社会の諸問題について、自身の問題として「考える」姿勢を持つ

→読解・整理・要約する力、自己の見解を論理的・説得的に論述する力

「小論文」評価のポイント

*関係資料 大学HP入試情報
「過去の入試問題等」
「解答例」「出題の意図」

- ①課題文を読解できているか
- ②「何について」問われているのかを理解して解答しているか
…「問い」の読解力
- ③自分の言葉で、自身の意見等を論理的・説得的に論述できているか
…課題文の中にある視点・ヒント等も手掛かりにして、議論を展開できているか
- ④日本語の文章表現として正確・適切か

⇒大学HP「入試情報」で過去の出題をチェック！

「出題の意図」（課題文選択の背景、受験生に何を望むか）、「解答例」

※法学部オリジナルサイトにて「採点の講評」も掲載しています。

例：2025年度前期「小論文」

*関係資料 大学HP入試情報
「過去の入試問題等」
「解答例」「出題の意図」

課題文：御田寺圭『ただしさに殺されないために——声なき者への社会論』
(大和書房、2022年5月)

問1：課題文を要約しなさい。(400字以内・150点)

問2：下線部で述べられているような、人がそれぞれ幸福を感じる行動や嗜好が、社会的・政治的に望ましいものであるかどうかという観点から制限されることについて、具体例を挙げながらあなたの見解を明らかにし、その理由を説明しなさい。(440字以内・150点)

例：2025年度前期「小論文」

*関係資料 大学HP入試情報
「過去の入試問題等」
「解答例」「出題の意図」

問1：公表している解答例

リベラリストたちの間で地球環境問題に対する関心が高まり、これからの時代の人間社会にとって普遍的な道徳と見なされるべき持続可能性に鑑みて、食肉文化を見なおす機運が高まっている。食肉を忌避するヴィーガニズムに対して、世間はかつて親和的ではなかったが、急速に進行する気候変動に直面し、それへの具体的対策の提示が必要となったことで、ヴィーガニズムが進歩的で道徳的な人間としての具体的実践であると考えられるようになった。さらに、2020年代の新型コロナ・パンデミックによって、社会秩序維持のために健康であることを個人が目指すべき規範と考える傾向が生まれた。食肉や健康といったものは、かつては個人の幸福の問題とされ、それらを求める行動を選択することは基本的人権と考えられていた。しかし2020年代は、社会的・政治的に望ましいものにだけ、その営みを楽しんでよい自由が保障され、個人の自由が制限される時代となってゆく。

○入れるべきポイントが複数ある

→うまく文章化し、制限字数内でまとめることができるか。

例：2025年度前期「小論文」

*関係資料 大学HP入試情報
「過去の入試問題等」
「解答例」「出題の意図」

問2：下線部で述べられているような、人がそれぞれ幸福を感じる行動や嗜好が、社会的・政治的に望ましいものであるかどうかという観点から制限されることについて、具体例を挙げながらあなたの見解を明らかにし、その理由を説明しなさい。(440字以内)(150点)

※本文下線部…「社会的には必ずしも益はない、むしろ健康や経済などの観点からすれば有害である一方で、しかし個人的な幸福をもたらすものとして愛好されてきたもの」

- ×筆者(または下線部)の見解への賛成・反対を論じてしまう。
- ×気候変動対策、SDGs、新型コロナ・ウィルス対策を論じてしまう。
- ×「用意してきた解答」を無理やりこじつける。
- ×具体例を挙げていない。
- ×具体例を挙げているが、自身の考えが示せていない・理由への言及がない。
- ×日本語の文章として誤りがある(誤字・脱字、常体と敬体の混用など)。

「面接」試験について

*関係資料 大学HP入試情報
「過去の入試問題等」
「解答例」「出題の意図」

近年は3問出題される傾向

①志望動機と入学後に学びたいこと(1分程度で)

②社会的問題 <過去の出題例>

学習の場で対話型AIを高校生が使用することについての賛否

インターネット上での誹謗中傷に対する厳罰化に関する賛否

下水道使用料の値上げにより下水道管の老朽化対策費を賄うことについての賛否

③関心を持った最近の社会的事件・出来事

←社会に関する基礎的知識と問題関心、社会的問題に対する論理的思考力および多角的検討能力

面接官は追加質問や反論提示をするなどして、受験者の知識・関心の幅、論理的思考力、プレゼンテーションおよびコミュニケーション力を評価

2027 (R9) 年度入試からの変更点

※来年度実施

*関係資料「入学者選抜要項」
44～49頁

I. 募集人員の変更

法律 177名 → 171名 (前期100・後期14・学校推薦型57)

政策 76名 → 72名 (前期40・後期10・学校推薦型22)

II. 個別の試験の変更

① 一般前期「小論文」の説明を「科目等」欄に追加

「「公共」の学習を前提として、社会の諸問題に対する知識や、論理的思考力、文章の読解力や表現力等を問う」

② 一般後期「面接」→「小論文」に変更、説明を「科目等」欄に追加

「法学や政策に対する興味と熱意、法学や政策と社会との関わりへの知識・関心、および文章の表現力等を問う」

入試に関する詳細な情報は

①大学HP「入試情報」（過去の入試問題等は「学部の入試情報」内にあります。）

お手元の「入学者選抜要項」、（入試区分ごとの）「学生募集要項」

②法学部オリジナルサイト<https://www.kitakyu-u.ac.jp/law/>
でも順次情報をアップしていく予定です。

